

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立あゆみの家
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度				
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位:円)	
社会福祉法人蒼溪会		H19.1.1	～ H24.3.31	5年 3ヶ月	
社会福祉法人蒼溪会		H24.4.1	～ H29.3.31	5年	
社会福祉法人蒼溪会		H29.4.1	～ R3.4.2	4年	
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R3.4.1	～ R4.3.31	1年	23,427,808
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R4.4.1	～ R8.3.31	4年	231,000

2 施設の概要

所在地	韮崎市旭町上條南割3314-13
設置年月日	平成19年1月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立あゆみの家設置及び管理条例
設置目的	精神障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主な業務の内容	(1)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・自立訓練(生活訓練)及び短期入所に係る業務を行う。 (2)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:2,169㎡ ○建築延面積:646.09㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造2階建 ○施設の内容 ・居室:全室個室:10㎡、1階に10部屋、2階に12部屋(2室は短期入所) 居室設備等(収納、ベッド、洗面台、エアコン、冷蔵庫、カーテン、バルコニー) ・その他:静養室(ベット、洗面台、カーテン)、多機能室、相談室、浴室、トイレ、娯楽室兼食堂、事務室、宿直室、倉庫等 ○各障害福祉サービス定員 ・自立訓練(生活訓練):20人、宿泊型自立訓練:20人 ・短期入所:2人
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	82,769,307	72,195,903	45,946,915	53,224,674	54,863,210	
支出合計	47,540,008	55,858,410	39,850,398	46,517,207	45,238,992	
収支差額	35,229,299	16,337,493	6,096,517	6,707,467	9,624,218	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	40人	35人	13人	30人	31人	各障害福祉サービスの月平均利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

令和3年4月から現法人が新たな指定管理者となり、運営を開始してから3年が経過した。
令和5年度当初の入居者は15名、開所後からの入居者が2年の期限を迎え退居していくこと、病状不安定な入居者の入院長期化による退居も予測されることも踏まえ、新規入居者の受入れ体制の強化に取り組んだ。
特に精神障害者の日常生活に欠かせない服薬管理に関して、現入居者の支援を含め新規受入れ体制等の検討を行った結果、入居希望の相談及び新規入居者の増加にもつながったと思われる。新規入居者増加の一方で、環境の変化や病状に伴う人間関係ストレス等による症状悪化は避けられず、入院した4名が自立訓練再開は困難な状況のため退居となった。
今後も、県内の精神科医療機関、各市町及び相談支援事業所等と連携し、新規入居者の受入れについて計画的に取り組むとともに支援体制の強化を図る必要がある。
利用者への支援では、本人及びその家族、関係機関等と連携し、個々のニーズに即した個別支援計画及び個別訓練実施計画を作成し、希望する生活の場(住まい)や日々の生活を具体的にイメージしていきながら日常生活や社会生活能力の向上を図るための訓練、情報提供等を実施した。
施設の維持・保全については、経年劣化による設備備品の消耗、故障による交換等、修繕を実施した。
建物設備点検(年1回)及び消防設備点検(年2回)等、業者による点検、また、利用者の安全な生活が確保できるよう職員による施設内及び外観等の点検を週1回、空調設備は年2回の大掃除に清掃点検を行った。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

令和3年度、利用者がいない状況で指定管理を開始して3年が経過する中、関係機関との連携等を図るなど利用者の増加に努め安定的な経営運営が行われている。また、利用者の安全や利便性に留意した管理が行われていることを確認した。
利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を施策推進業務における評価指標とし、目標値を80%と設定した。調査結果(令和6年3月末)では85.8%となり目標を上回っているが、「どちらかといえば不満」、「不満」という利用者も複数あることから、調査結果を分析の上、施設運営の改善を図ることや利用者個々のニーズを踏まえた個別支援計画の策定をはじめ根拠法令等を踏まえて質の高いサービスの提供に努めること等の指導を行った。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

利用者満足度の向上を図るため、調査結果を分析し、施設運営の具体的な改善方法を検討し、対応可能なものから早期に着手を行う。
また、設備、備品等は平成19年1月設置である物が多く、経年劣化が避けられないため、備品台帳の整備を行うとともに、不具合等の具体的な状況把握を行い、優先度や所要経費等を明確にした上、計画的に設備、備品等の修繕、更新に取り組むための作業を検討している。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立あゆみの家

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	自立訓練(生活訓練)	20	18	6	15	15
	宿泊型自立訓練	19	17	6	15	15
	短期入所	1	0	1	0	1
	利用者数合計	40	35	13	30	31
	目標値	44	44	28	42	42
	実績/目標割合	90.9%	79.5%	46.4%	71.4%	73.8%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする。				
利用率	稼働率等(利用率)	90.9%	79.5%	46.4%	71.4%	73.8%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立育精福祉センター:成人寮(施設入所90人、生活介護105人、短期入所9人)、児童寮(施設入所70人、短期入所9人) 梨の実寮:施設入所50人、生活介護52人、就労移行支援6人、就労継続支援B型12人、短期入所6人、 あさひワークホーム:施設入所40人、生活介護38人、就労移行支援8人、就労継続支援B型34人、短期入所5人 あけぼの医療福祉センター成人寮:施設入所40人、生活介護45人、自立訓練(機能訓練)15人、短期入所15人
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

管 誘導灯(消防関係設備)交換	533,500
管 ビルトインコンロ2台(食堂調理用ガスコンロ)交換取付	112,750
管 利用者居室空調機修繕及び網戸取り換え工事	49,500

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	A 収入額計	82,769,307	72,195,903	45,946,915	53,224,674	54,863,210
	施設利用料	81,319,412	71,696,808	22,442,107	49,381,684	53,145,064
	指定管理委託料			23,427,808		
	受取利息配当金収入	1,155	3,508		97	93
	その他	1,448,740	495,587	77,000	3,842,893	1,718,053
支出	B 支出額計	47,540,008	55,858,410	39,850,398	46,517,207	45,238,992
	人件費	35,214,527	43,434,903	32,224,782	37,164,012	38,576,892
	給食費	921,526	418,253	944,172	1,605,679	1,545,120
	修繕費	190,679	437,370	83,050	31,900	645,700
	光熱水費	2,672,481	2,608,388	1,675,038	2,699,512	2,205,150
	消耗器具備品費	621,493	618,646	1,171,771	274,640	128,748
	事務消耗品費	299,558	181,687	1,410,449	79,852	42,985
	賃借料	256,732	1,481,713			
	保険料	405,980	230,621	246,220	268,370	240,180
	教養娯楽費	254,193	196,354	22,331	50,914	51,237
	旅行交通費	83,725	3,350	2,346	3,850	3,386
	研修研究費	3,219,468	714,744	8,000	12,000	2,203
	通信運搬費	692,026	612,059	256,690	251,493	227,049
	広報費	952,298	656,732		159,170	105,820
	租税公課費	182,219	267,550	112,680	101,665	45,400
	日用品費			41,633	45,320	63,162
	その他	763,933	891,244	1,092,954	3,161,574	584,445
	外部委託費	809,170	3,104,796	558,282	607,256	771,515
	保守点検業務	551,840	302,890	435,818	346,490	513,785
	会計業務	257,330	203,546		132,000	132,000
	その他		2,598,360	122,464	128,766	125,730
外部委託比率	1.7%	5.6%	1.4%	1.3%	1.7%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	35,229,299	16,337,493	6,096,517	6,707,467	9,624,218	
一人当たりの収入額*	2,069,232.7	2,062,740.1	3,534,378.1	1,774,155.8	1,769,781.0	
* 収入額計÷利用者数(単位:円)						
一人当たりの指定管理委託料*	—	—	1,802,139.1	—	—	
* 指定管理委託料÷利用者数(単位:円)						

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	日時: 第1回:令和5年9月1日(月)、第2回:令和6年3月25日(月) 方法: 調査票(別紙)、回答は無記名(第1回、2回とも同様) ・全員に調査協力依頼と回答に関する説明のうえ記入 ・回収は当日、各自の手で回収用封筒に入れる 回答者: 第1回:入居者12名、第2回:入居者14名 結果: 集計結果は職員会議で共有し、対策等を行った上で入居者へ報告 ※下記データは第2回の結果(半数以上が第1回以降の入居のため)			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①職員の言葉づかいや礼儀、態度	64.3%	28.6%	7.1%	
②職員の話・説明(内容・言葉)のわかりやすさ	57.1%	35.8%	7.1%	
③職員のコミュニケーション(会話、表情、雰囲気等)	71.5%	21.4%	7.1%	
④職員の相談しやすさ等	50.0%	35.8%	7.1%	7.1%
⑤職員の利用者の気持ちを尊重した対応	71.5%	21.4%	7.1%	
⑥職員の利用者・家族のプライバシー配慮や個人情報保護等の対応	57.1%	42.9%		
⑦施設からの書面(お知らせ等)のわかりやすさ	57.1%	21.4%	7.1%	14.4%
⑧夕食(献立、品数、味付け等)	42.9%	35.8%	21.3%	
⑨入浴(使用時間、設備等)	21.4%	64.3%		14.3%
⑩環境・衛生面(室温、清掃・整理整頓等)	50.0%	35.8%	14.2%	
⑪職員の利用者の健康状態を把握した対応	64.3%	28.6%	7.1%	
⑫利用者自身が健康状態を理解し、安定した生活を送るための支援	50.0%	35.8%	14.2%	
⑬プログラム活動(清掃、買い物、体力づくり等)	57.1%	14.3%	21.4%	7.2%
⑭個別支援計画・訓練実施計画(利用者の意向尊重等)	42.9%	50.0%	7.1%	
⑮サービス管理責任者・生活支援員の制度理解	42.9%	35.8%	21.3%	
⑯施設全般の満足度	50.0%	35.8%	14.2%	
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴について、一人当たりの入浴時間が短い(定員20人を想定しての配分のため)。シャワーは旧式のため水圧、湯の温度が安定しないという声はある。入浴時間については、シャワー浴の利用者が過半数で概ね時間内で終わることが出来ている。 ・食事について、献立のレパートリーが多く、栄養バランス面でも満足という意見がある一方で、味つけや調理法等への要望もある。 ・職員の態度や対応等について、約80%は満足(どちらかと言えば満足を合わせ)との結果ではあるが、年齢や障害特性等に即した活動内容や支援スキル等、サービスの質の向上が求められている。 			
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時間等現状どおりとすること等随時説明し理解を得ながら、各利用者が希望する時間帯の相談や準備含めて計画的効率的に入浴できるよう支援している。 ・食事については、業者変更により献立や食材が幅広くなり栄養面からも適切と思われること、個人的嗜好で追加して摂ることは可能等、全体及び個々に説明し、他の食事にもつながる支援を行っている。 ・職員の姿勢、対応に関しては、障害者虐待予防の自己評価表での随時チェック、ヒヤリハット報告書の振り返り、個別支援計画・訓練実施計画の策定及びモニタリングの共有、日々のミーティングで気づいたことを気軽に話し合える職場環境に努めている。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>建物や敷地内の通路や廊下等、日頃から職員による整理整頓及び破損・汚損・劣化等の点検を行うとともに、業者による法定点検を実施した。</p> <p>経年劣化により不具合が発生している設備及び備品については、安全性を重視し使用禁止としたり、未使用居室の備品との交換で代用している物もある。軽微な破損や故障等には速やかに対処し、利用者に安全・安心の環境下で快適な生活及び充実した生活訓練ができる体制に努めた。</p>	<p>定期的な保守管理や清掃作業等により、利用者の安全や利便性に留意した適切な管理が行われた。</p> <p>経年劣化による設備や備品等の不具合については、具体的な状況把握のうえ、計画的に修繕、更新を行っていく必要がある。</p> <p>今後も保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応されたい。</p>
運営業務	<p>利用者個々の障害の状況や程度、ニーズを把握し、個別支援計画・個別訓練実施計画を策定し、将来の地域生活に向けて利用者本人及び家族、関係機関等と連携し、計画的に具体的な支援及び評価を行った。</p> <p>また、日常生活を通しての個別支援と並行して小グループによる料理教室、圏域で実施しているピアサポーター事業を導入しての体験交流等、利用者の主体的活動の拡充を図った。地域との連携・交流について、安全管理面を含めて自治組織との連携体制の整備に取り組んでいくことが課題。</p>	<p>事業報告書等を確認したところ、適正に運営されていた。引き続き利用者個々の特性を踏まえた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供に努力されたい。</p>
利用状況	<p>新規入居者は10名、退居者10名。退居者10名のうち4名は長期入院による退居、その他の6名は、退居先の事情で2年の期限を超えた利用者であったが、自宅、団地、グループホーム等、それぞれが希望する地域での生活への移行となった。</p> <p>新規入居者は10名と徐々に増えてきたが、予定が明確な退居だけではなく精神症状にあわせて加齢等身体機能の低下による退居もあり、安定した入居者確保の難しさがある。</p>	<p>令和3年度、利用者がいない状況で指定管理を開始したが、関係機関との連携等を図るなど、利用者の増加に努めている。</p> <p>体験利用の受入等を強化し、更に安定した利用者の確保に努められたい。</p>
収支状況	<p>月別の利用者数には若干の増減はあるが、安定的な収支状況となっている。</p>	<p>事業開始から3年、安定的な経営運営が行われている。引き続き、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに、利用料収入の確保に努力されたい。</p>
自主事業		
利用者満足度	<p>施設全般の満足度で、「どちらかと言えば満足」をあわせると80%超の利用者から「満足」との評価はあるが、「満足」という割合を見ると昨年度より低い項目もある。入居期間が長くなる中での評価、期待でもあると感じる。</p> <p>利用者からの意見や提案等は貴重であり振り返りや見直しの機会ととらえ、職員間で共有、優先度を踏まえ改善方法等検討を行い、満足度の維持・向上に努めていく。</p>	<p>満足度調査の結果分析、日々の利用者からの意見等を踏まえて、施設の運営管理及びサービスの向上を図られたい。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設利用者の 満足度の 向上	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を施策推進業務における評価指標とし、目標値を80%と設定。</p> <p>調査の結果(令和6年3月末)、割合は85.8%と目標を上回ったが、「満足」という割合を見ると昨年度より低い項目もある。引き続き、利用者からの意見や提案等は随時職員間で共有し、支援の向上、満足度の維持・向上に努められたい。</p>	<p>利用者は、施設や職員に対しては概ね満足しているが、食事、入浴等のサービス項目で施設側への意見や支援への期待も伺える。</p> <p>今回、満足度が比較的低かったものを含め、内容を分析の上、改善を図りたい。</p>
感染症対策	<p>令和5年5月以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となったが、継続して、職員や利用者にはワクチン接種をはじめとする感染予防対策に留意することや、抗原検査キットを用意し職員、利用者等で発熱・咳等の症状を自覚した場合等の検査の実施及び検査後の対応等により陽性者の早期発見や陽性者が2名以上発生した際の保健所への報告等を県から要請した。</p> <p>12月にクラスターが1件発生したが、陽性者とその他の利用者との接触を避ける環境調整等の対応により感染拡大防止に努めた。</p> <p>また、計画的に地域移行を進めるうえで、感染対策の見直し、強化に取り組んだ。</p>	<p>施設内における感染症対策は適切に行われていることを確認した。引き続き、感染症対策の徹底に努められたい。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

